

第3回 千葉県安全性向上プロジェクト委員会

対 策（案）の 提 示

1. 対策（案）のメニュー

「対策箇所30」における対策内容と事業予定、概算事業費を以下の通りです。（対策内容は今後の協議により変更される可能性があります。）

番号	路 線	箇 所 名	主な事故要因と対策方針	事 故 対 策	事業予定年度	概算事業費 (百万円)
1	国道6号	陣ヶ前	重交通量、下り勾配、トンネル出口から近いことから適切な停止ができない。変形交差点のため見通しが悪い。 ⇒交差点形状を分かりやすくする。速度抑制を図る。	①交通整流化: 停止線・横断歩道・巻込み線の前出し、道路線形のシフト、交通島の縮小、路面標示(導流標示) ②注意喚起: 警戒標識、高視認性区画線、路面標示(追突注意) ③速度抑制: ダブル区画線(減速マーキング)	H18	10
2	国道6号	名都借	交差点間隔が短く、流入交通が急停止となる。変形交差点のため右左折時の確認がしづらい。 ⇒交差点形状を分かりやすくする。速度抑制を図る。	①注意喚起: 路面標示(追突注意、予告矢印)、カラー舗装、法定外看板(交差点形状の表記) ②交通整流化: 停止線の前出し、横断歩道・自転車横断帯の再設置、交差点内路面標示の設置・復旧	H18	10
3	国道6号	柏駅西口	慢性的な渋滞による追突事故。 ⇒交差点形状を分かりやすくし、交通の整流化を図る。	①交通整流化: 右折車線延長、路面標示(導流標示、交差道路側) ②注意喚起: 法定外看板(地下道利用)、高視認性区画線、路面標示(追突注意)	H18	5
4	国道14号	(仮称)幕張町4丁目	右折時に自転車交通を確認しづらい。2段階右折のため無理な右折がある。 ⇒右折時の視認性向上を図る。速度抑制を図る。	①交通整流化: 薄層カラー舗装(すべり止め舗装)、植栽整理、横断歩道の後下げ(左折待ちスペースの確保)、 路面標示(導流標示)、交差点形状の見直し(コンパクト化等別途検討・・・事業費が多くなる) ②注意喚起: 路面標示(追突注意)、高視認性区画線 ③速度抑制: ダブル区画線(減速マーキング)	H19	10
5	国道16号	(仮称)君津坂田	2段階右折のため無理な右折がある。視認性も悪い。 ⇒2段階右折を改良する。速度抑制を図る。	①注意喚起: 警戒標識、路面標示(追突注意) ②速度抑制: ダブル区画線(減速マーキング) ③交通整流化: 交差点内の車線運用変更(直進と右折専用に変更) ④公安関連: 信号灯器の大型化、信号現示のスリット撤去(別途要協議)	H19	5
6	国道16号	大堀	店舗、家屋により交差点が認識しづらい。 ⇒交差点形状を分かりやすくする。速度抑制を図る。	①注意喚起・速度抑制: カラー舗装、警戒標識(信号あり) ②交通整流化: 外側線の設置	H17	5
7	国道51号	(仮称)飯仲	下り勾配、カーブ区間、交差点間が近いことから適切に停止できない。 ⇒交差点を認識しやすくし、交通の整流化を図る。	①交通整流化: 停止線・横断歩道の前出し、路面標示(導流標示) ②注意喚起: 法廷外看板(追突注意)、路面標示(追突注意)、高視認性区画線 ③速度抑制: 薄層カラー舗装	H19	10
8	国道127号	(仮称)館山湊	直線区間で速度がやすい。無理な右折車がある。 ⇒交差点を認識しやすくする。速度抑制を図る。	①注意喚起: 路面標示(追突注意)、警戒標識(信号あり)、高視認性区画線 ②速度抑制: ダブル区画線(減速マーキング) ③公安関連: 信号現示の変更(右折を矢印のみに変更)、信号灯器の大型化	H19	5
9	国道357号	香澄	2段階右折のため無理な右折がある。直線区間で速度がやすい。右折時に自転車交通を確認しづらい。 ⇒右折時の視認性向上を図る。速度抑制を図る。	①交通整流化: 横断歩道・自転車横断帯の前出し、路面標示(導流標示) ②注意喚起: 路面標示(追突注意)、警戒標識、高視認性区画線 ③速度抑制: ダブル区画線	H19	5
10	国道357号	塩浜	直線区間で速度超過車両が多い。交差点が大きく、右左折時の速度が高い。 ⇒交差点のコンパクト化。速度抑制を図る。	①速度抑制: ダブル区画線(減速マーキング)(上り線のみ) ②注意喚起: 路面標示(追突注意、スピード落せ)、法定外看板(追突事故多し)、高視認性区画線 ③交通整流化: 停止線・歩道巻込み部の前出し、路面標示(右折導流標示)、横断歩道の移設、自転車横断帯	H19	14
11	主)穴川天戸線	園生十字路	重交通量、変形交差点のため右左折時の確認がしづらい。 ⇒路面標示の見直しによる交通の整流化を図る。	①交通整流化: 右折車線追加、導流路 ②注意喚起: 自転車横断帯のカラー標示、法定外看板 ③速度抑制: 路面標示(高輝度化) ④視認性の向上: 道路照明(新設)	H18	2
12	主)船橋松戸線	船橋駅北口十字路	多車線道路同士の交差点であるため、交差点が大きく、右左折時の走行が不規則。 ⇒通行形態にあった車線誘導と通行方法の明示を行い交通の整流化を図る。	①交通整流化: 路面標示(右折の方法)、路面標示(区画線、ゼブラ)再設置 ②注意喚起: 法廷外看板	H18	2

番号	路 線	箇 所 名	主な事故要因と対策方針	事 故 対 策	事業予定年度	概算事業費 (百万円)
13	主)市川浦安線	相之川	多車線道路同士の交差点であるため、交差点が大きく、右左折時の速度が高い。 ⇒交差点内の通行位置を明示し、交通の整流化を図ると共に、速度抑制を図る。	①交通整流化: 路面標示(導流標示) ②注意喚起: 法廷外看板 ③速度抑制: 路面標示(速度落せ) ④歩行者の安全性確保: 歩道段差改修	H19	20
14	一)白井流山線	小金交番	交差点形状が食違いとなっており、また右折車線が無いため、渋滞が生じ、視認性阻害や走行が不規則になっている。 ⇒交差点中心線の整合や交差点内の走行動線を安定化させる。	①交通整流化: 路面標示(導流標示、ゼブラ)、路肩補正し道路の中心線を整合 ②注意喚起: 法廷外看板	H19	5
15	一)西浦安停車場線	入船	見通しの良い直線区間であるため、走行速度が高い。また、交差点が大きいため、交通が不規則である。 ⇒交差点内での走行位置を明示し、走行の安定化を図ると共に、速度抑制を図る。ドライバーへの注意喚起を行う。	①交通整流化: 路面標示(導流標示) ②注意喚起: 法廷外看板	H19	5
16	主)市原茂原線	姉崎	車線の食違いにより無理な右左折がある。鈍角方向への右左折時に速度が出やすい。 ⇒交差点内での走行位置を明示し、走行の安定化を図る。交差点のコンパクト化を行い、速度抑制を図る。	①交通整流化: 路面標示(導流標示、ゼブラ)、隅切り改良 ②速度抑制: 路面標示(速度落せ)	H17	5
17	一)夷隅瑞沢線	(仮称)作田	見通しの良い直線区間であるため、走行速度が高く、車両相互の走行速度把握がしにくい。 ⇒交差点内での走行位置を明示し、走行の安定化を図ると共に速度抑制を図る。ドライバーへの注意喚起を行う。	①交通整流化: 路面標示(十字路あり)、交差点鉾、停止線位置変更 ②注意喚起: 法廷外看板、ラバーポール ③速度抑制: カラー舗装	H19	5
18	一)岩富山田台線	沖十文字	交差点形状が複雑であるため、交通流が不規則。 ⇒交差点をコンパクト化することにより速度抑制と、交差点内の走行動線の安定化を図る。	①交通整流化: 路面標示(導流標示) ②注意喚起: 法廷外看板 ③速度抑制: 路面標示(速度落せ) ④歩行者の安全性確保: 歩道拡張	H18	10
19	一)君津大貫線	(仮称)絹	交差点の手前が曲線区間であるため、交差点の認識が遅れる。交差点の見通しが悪い。 ⇒交差点をコンパクト化することにより交通の整流化を図ると共に、ドライバーへ交差点を認識させる。	①交通整流化: 路面標示(交差点あり、クロスマーク)、停止線位置変更 ②注意喚起: 法廷外看板 ③速度抑制: カラー舗装	H19	5
20	主)松戸野田線	(仮称)流山IC入口	交差点が大きく、交差角が鈍角であるため、左折速度が速い。また、左折専用現示(矢印)が赤への切り替えと勘違いする車両がある。⇒交差点のコンパクト化を行い、進行速度を抑制すると共に、交差点内の走行動線を安定化させる。	①交通整流化: 路面標示(流入角度の修正)の修正、通行帯区分を明示した法廷外看板 ②注意喚起: 路面標示(追突注意)、法廷外看板(追突注意)	H19	20
21	国道14号	新町	重交通による混雑、沿道店舗などにより走行しづらい。 ⇒注意喚起と路面標示の見直しによる交通の整流化を図る。	①交通整流化: 路面標示の改修(従道路側の導流線改修)、交差点のコンパクト化(信号処理を含む)検討 ②注意喚起: 法定外看板(「歩行者注意」「追突注意」)	H19	1
22	国道126号	(仮称)祐光1丁目	重交通による混雑。直線区間で速度がでやすい。変形交差点のため交差道路交通を確認しづらい。 ⇒注意喚起と視認性向上を図る。	①交通整流化(従道路側): 路面標示、ポストコーン ②視認性向上: ガードパイプ ③注意喚起: 法定外看板の設置	H18	2
23	一)君津青堀線	(仮称)久保4丁目	右左折者と直進車が同一線上に混在しているため、右折車と直進車の事故が発生している。 ⇒通行形態にあった車線の設置(右折車線)を行い、交通流の整流化を図る。	①交通整流化: 右折車線(新設)、路面標示(導流標示) ②注意喚起: 法定外看板	H19	20
24	国道126号	豊海県道入口	多車線道路同士の交差点であるため、交差点が大きく、進行速度が速い。⇒交差点のコンパクト化を行い、交差点のコンパクト化を行い、進行速度を抑制すると共に、交差点内の走行動線を安定化させる。	①交通整流化: 路面標示(導流標示、停止線位置)の修正、プリンカーライト、法廷外看板 ②速度抑制: 路面標示(速度落せ)	H19	5

番号	路 線	箇 所 名	主な事故要因と対策方針	事 故 対 策	事業予定年度	概算事業費 (百万円)
25	国道51号	上岩橋	下り勾配で速度がでやすく適切な停止ができない。 ⇒路面標示の見直しによる交通の整流化を図る。速度抑制を図る。	①交通整流化: 停止線の前出し、路面標示(導流標示) ②注意喚起: 警戒標識、路面標示(追突注意)、高視認性区画線 ③速度抑制: ダブル区画線(減速マーキング)	H19	5
26	主)成田松尾線	(仮称)三里塚御陵	見通しの良い直線区間であるため、速度超過となりやすい。夜間交差点が暗い。 ⇒ドライバーへの注意喚起を行い、速度抑制を促す。夜間視認性の確保。	①交通整流化: 法廷外看板、路面標示(クロスマーク)、道路照明 ②速度抑制: 路面標示(速度落せ)	H19	3
27	一)正気茂原線	(仮称)六ツ野	見通しの良い直線区間であるため、速度超過となりやすい。無理な交差点への進入が多い。 ⇒ドライバーへの注意喚起を行い、速度抑制を促す。交差点の認知性を向上させる。	①交通整流化: 横断歩道の位置修正、路面標示(クロスマーク) ②注意喚起: 法廷外看板 ③速度抑制: 路面標示(速度落せ)	H19	5
28	一)成東鳴浜線	白幡	見通しが悪い。 ⇒交差点のコンパクト化を行い、視認性を向上させると共に、速度抑制を図る。	①交通整流化: 路面標示(クロスマーク)、カーブミラーの大型化 ②注意喚起: 法廷外看板、交差点内のカラー舗装化 ③速度抑制: 路面標示(速度落せ)	H19	5
29	国道410号	下町	歩道が整備されておらず、人と車両の交通が交錯する。 ⇒交差点のコンパクト化などにより、ドライバーへの注意喚起を行いと共に、歩行者の安全性を確保する。	①交通整流化: 横断歩道の位置修正 ②注意喚起: 法廷外看板 ③速度抑制: カラー舗装 ④歩行者の安全性確保: 歩道段差改修(長期対策)	H19	15 (短期対策のみ)
30	国道128号	鴨川市横渚261～1088	見通しが良い直線区間であるため、走行速度が速くなりやすい。乱横断歩行者が多い。 ⇒車両の速度を抑制する。ドライバーへの注意喚起。	①交通整流化: 路面標示(予告矢印)、路面標示の再設置(区画線) ②注意喚起: 法廷外看板 ③速度抑制: ダブル区画線(減速マーキング)	H18	20